

沼田市学校施設長寿命化計画

【改訂版】

令和7年10月

沼田市

目次

第1章 背景・目的	1
1 背景	1
2 目的	1
3 計画の位置づけ	2
4 計画期間	2
5 対象施設	3
第2章 学校施設の目指すべき姿	4
1 上位関連計画	4
2 学校施設の目指すべき姿	6
第3章 学校施設の実態	7
1 人口、財政等の状況	7
2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	11
3 学校施設の老朽化状況の実態	20
4 長寿命化した場合のコストの見通し	25
5 学校施設を取り巻く課題の整理	27
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	28
1 学校施設の長寿命化計画の基本方針	28
2 学校施設の規模・配置計画等の方針	30
3 改修等の基本的な方針	30
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	33
1 改修等の整備水準	33
2 維持管理の項目・手法等	34
第6章 長寿命化の実施計画	35
1 改修等の優先度	35
2 実施済の工事一覧	37
3 実施スケジュール	37
第7章 長寿命化計画の継続的運用	38
1 情報基盤の整備と活用	38
2 推進体制等の整備	38
3 フォローアップ	38

第1章 背景・目的

1 背景

我が国の学校施設は、人口増加に伴う児童生徒数の増加に合わせて昭和40年代から50年代にかけて多く建設されましたが、現在、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、災害時には、避難所としての役割も果たす重要な施設のため、老朽化対策は先送りできない重要な課題です。

本市の学校施設も昭和40年代から50年代に建築された施設が多数あり、築30年以上の施設が約8割を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。

一方で、少子高齢化による人口減少の時代を迎え、社会保障関係費の増加や税収の落ち込みが予想されており、財政面でも厳しい状況となることが予測されます。

こうした状況は、今後ますます進行するものと考えられ、学校施設に求められている機能や性能を確保するため、効果的・効率的な施設整備が必要となっています。

2 目的

「沼田市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）」は、本市の所有する学校施設について、上記の背景を踏まえ、2017年3月に策定された「沼田市公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」の方針に基づき、学校施設の長寿命化を念頭に、適切に改修や建て替えを行い、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び改修・更新費用の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的とします。

3 計画の位置づけ

○本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」による個別施設計画であり、本市における公共施設等の管理方針等を定めた管理計画及び2025年3月に策定された沼田市新たな学校づくり実施計画を踏まえ、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月文部科学省）等を参考にして策定します。

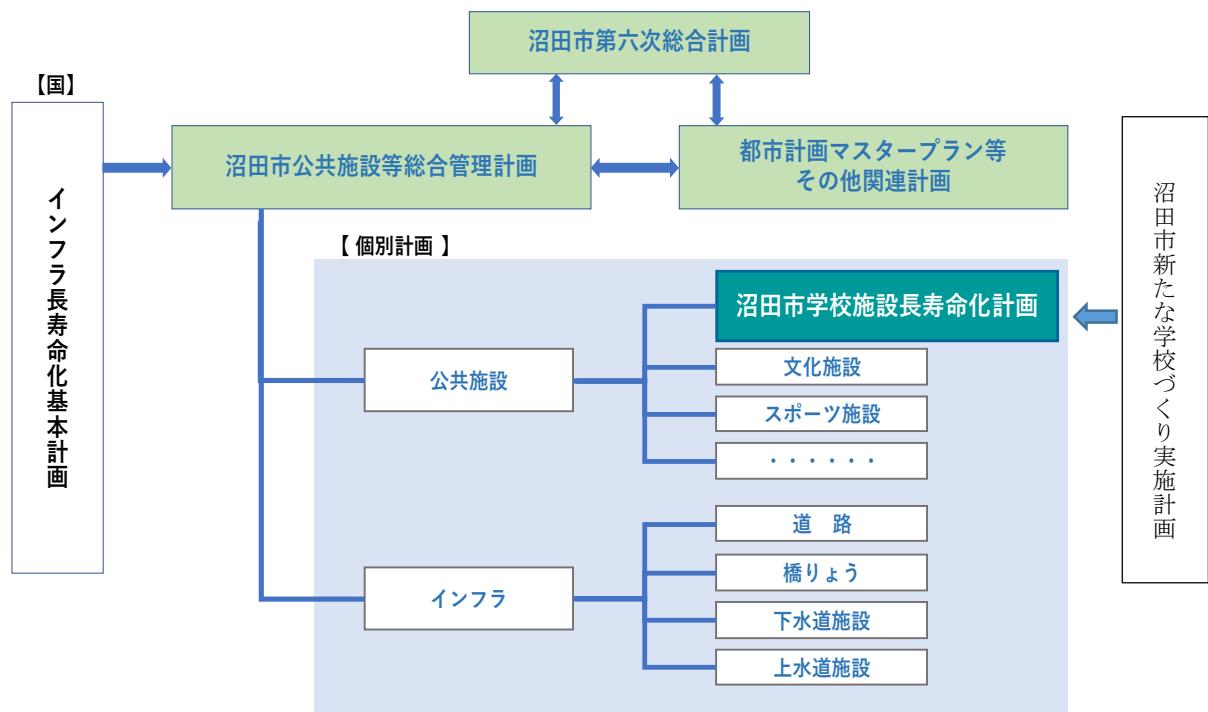


図 1-1 本計画の位置づけ

4 計画期間

○本計画は、管理計画の実施計画であるため、計画期間を2020年度から2033年度までの14年間とします。なお、中長期的な視点をもった計画とするため、維持・更新等コストの試算期間は、2019年度を基準年として、基準年の翌年から40年間とします。

○本計画は、上位計画等の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行います。

5 対象施設

○本計画の対象施設は、本市が保有する小学校 7 校、中学校 3 校とします。

○また、本計画における対象建物は、200 m²以下の附属屋等を除いた小学校 25 棟、中学校 16 棟とします。

表 1-1 対象建物一覧

名称		住所	建物数	延床面積(m ²)
小学校	1 沼田小学校	沼田市西倉内町746	5棟	6,582
	2 沼田東小学校	沼田市東原新町1801-1	3棟	6,160
	3 升形小学校	沼田市栄町141	4棟	4,835
	4 利南東小学校(現沼田東中学校)	沼田市横塚町1118	4棟	4,020
	5 薄根小学校	沼田市善桂寺町32	4棟	5,454
	6 川田小学校	沼田市下川田町540	3棟	4,917
	7 利根小学校	沼田市利根町追貝93	2棟	2,548
小学校 計			25棟	34,516
中学校	1 沼田中学校	沼田市東原新町1801-1	6棟	8,081
	2 薄根中学校	沼田市善桂寺町40	6棟	5,884
	3 白沢中学校	沼田市白沢町高平75-1	4棟	5,129
中学校 計			16棟	19,094

第2章 学校施設の目指すべき姿

1 上位関連計画

○上位計画等における学校施設に関する事項については、下表に示すとおりです。

計画名等	方針・施策等
沼田市第六次総合計画 (2017～2026年度) 策定 平成29年3月	<p>【施策の大綱】</p> <p>教育・文化～未来を担うたくましいひとづくり・まちづくり～</p> <p>○たくましく生きる力を育む学校教育を推進します。(学校教育)</p> <ul style="list-style-type: none">・学校経営を充実するとともに教職員の資質の向上を図り、児童・生徒の自己有用感を高めるとともに、確かな学力の向上や生徒指導の充実に努めます。・郷土を愛し、地域を誇りに思う指導の充実に努めます。・教職員が子どもと向き合う時間を一層確保できるように、校務の効率化に向けた環境づくりに努めます。・計画的な施設の維持管理に係る修繕、工事等の実施、計画的な備品購入に努めます。・児童生徒数の推移や地域の実情等を踏まえた統廃合を検討します。
沼田市過疎地域持続的 発展計画 (2021～2025 年度) 策定 令和3年11月 変更 令和6年8月	9 教育の振興 (1)現況及び問題点 ア 学校教育 旧利根村区域においては、社会の変化に的確に対応し、国際理解教育、情報教育、環境教育及び豊かな自然や文化的資源を生かした「沼田大好き！ふるさと学習」による郷土学習の充実に努める。また、地域の特性に配慮して、小・中学校間の連携・一貫教育、県立尾瀬高等学校との連携を推進し、児童生徒の学力向上と豊かな人間性の育成に努める。 給食については、新設された学校給食センターにより、安全・安心な食の提供だけでなく、地産地消及び地場産米の活用並びに食育の推進を図り、児童・生徒の健康増進に努める。
沼田市教育振興基本計 画 (2024～2028年度) 策定 令和6年2月	<p>【具体的な施策の展開】</p> <p>基本方針 I たくましく生きる力を育む学校教育の充実</p> <p>I－(4) 安心・安全な学校施設の整備・充実</p> <p>○施策の目的 　長寿命化できる施設は長寿命化し、適正に改修・建て替えを行いながら安心・安全で質の高い教育環境の整備を図る。</p> <p>I－(5) 学校規模の適正化</p> <p>○施策の目的</p>

計画名等	方針・施策等
	<p>少子化が進む中で、小中学校の適正配置について検討を進め、児童生徒にとって望ましい教育環境の整備・充実を図る。</p>
<p>沼田市公共施設等総合管理計画 (2017～2056年度) 策定 平成29年3月 改訂 令和4年3月</p>	<p>○基本理念 「新しい公共施設のかたちを未来へつなげよう」</p> <p>○基本方針 <u>方針1.施設の長期活用</u> <u>方針2.施設の機能や規模の最適化</u> <u>方針3.ライフサイクルコスト(LCC)の縮減と更新投資の平準化</u></p> <p>○目標の設定 公共施設の保有量（延床面積）を今後40年間で40%削減</p> <p>○施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（学校）</p> <p>【統廃合】 ・<u>統廃合による適正配置</u>を図る。</p> <p>【複合化・多機能化】 ・<u>地域の拠点施設として、集会施設、子育て支援施設等との複合化・多機能化</u>を検討する。</p> <p>【長寿命化・計画修繕】 ・維持する施設は、<u>予防保全型の維持管理</u>により長寿命化を図る。</p> <p>【公民連携】 ・行政と民間がパートナーを組んだ施設整備を検討する。</p>
<p>沼田市地域防災計画 策定 平成28年2月 令和5年2月修正</p>	<p>第2章 災害予防計画 第2節 迅速かつ円滑な災害応急対策への備え</p> <p>(1) 指定避難所の指定 市は、コミュニティセンター、学校等の公共的施設等を対象に、地域の人口、誘致圏域、地形、災害に対する安全性等に考慮し、その管理者の同意を得た上で、被災者が避難生活を送るための指定避難所をあらかじめ指定し、住民への周知徹底を図る。 指定緊急避難場所と指定避難所の役割が違うことについて、日頃から住民等への周知徹底に努める。</p> <p>(3) 学校を避難所として指定する場合の配慮 市は、学校を避難所として指定する場合には、学校が教育活動の場であることに配慮する。また、避難所としての機能は応急的なものであることを認識の上、避難所となる施設の利用方法等について、事前に教育委員会等の関係部局や地域住民等の関係者と調整を図る。市は、教育委員会及び学校と連携・協力体制を図り、教育委員会及び学校は学校避難所運営方策の検証・整備を行うものとする。</p>

2 学校施設の目指すべき姿

○上位計画等から、学校施設の目指すべき姿は次のとおりとします。

(1) 安全性・快適性を備えた学校づくり

- ・児童生徒が安全で安心して学校生活を過ごせるよう、予防保全型の維持管理や老朽化対策など、計画的な施設整備を図るとともに、危機管理・安全管理の徹底により、防犯性の高い、衛生的な施設環境を整えます。
- ・多様化する社会情勢の変化に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

(2) 充実した学習活動を実践できる学校づくり

- ・少人数指導やチームティーチング等により個々に応じたきめ細かな指導を行うとともに、学習内容の多様化や情報教育を推進し、学習活動の充実を図ります。
- ・地域の人々と連携し、体験的な活動を取り入れた教育活動や、豊かな自然や文化的資源を生かした郷土学習により、伝統や文化に関する教育の充実を図ります。

(3) 地域と連携した学校施設づくり

- ・地域の人々に開かれた環境づくりや、学校と地域との連携・協働を推進します。
- ・地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として、災害時の対応に配慮した施設づくりを図ります。

第3章 学校施設の実態

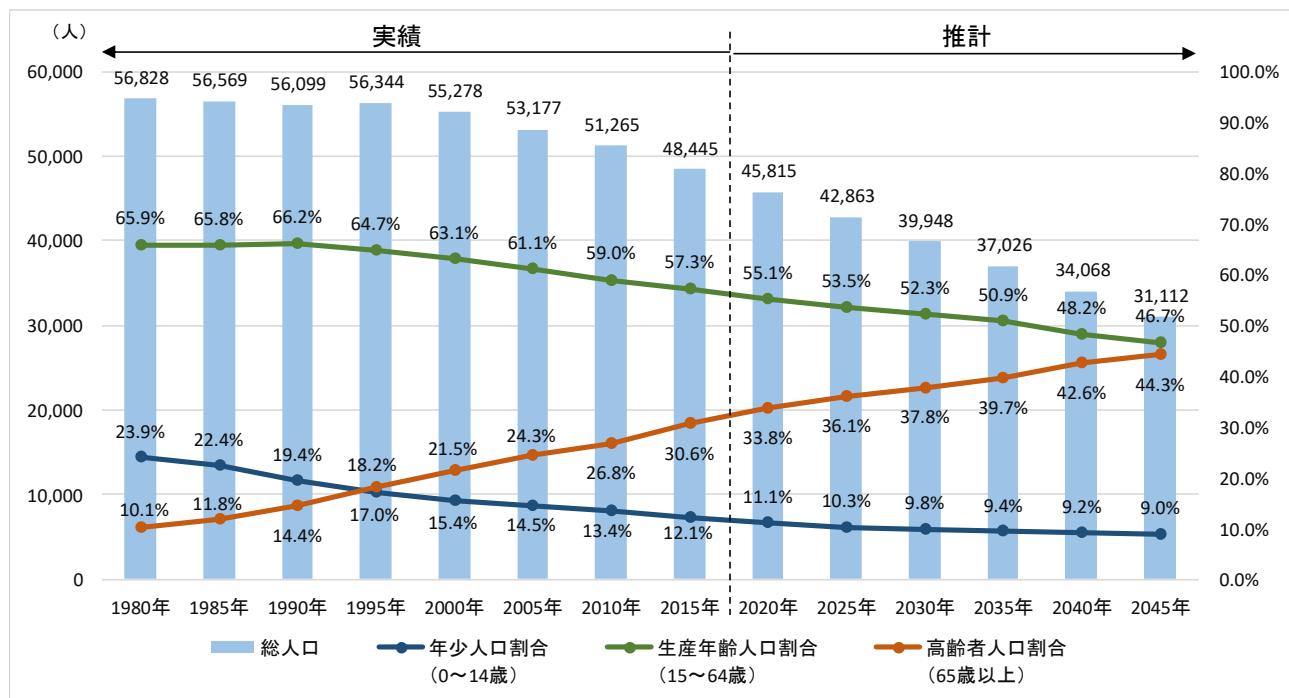
1 人口、財政等の状況

(1) 人口の状況

○総人口は、1980年以降56,000人程度で推移していましたが、2000年から減少傾向となり、2015年では5万人を下回っています。

○1980年以降の年齢3階層別人口割合をみると、高齢者人口割合は増加傾向であり、2015年は30.6%となっています。一方、年少人口は減少傾向であり、2015年は12.1%となっています。

○国立社会保障・人口問題研究所の推計結果によると、今後も人口減少及び少子高齢化の進行が見込まれていますが、「沼田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、出生率の向上や転入出の改善により人口減少を抑制し、2040年の人口規模を40,000人とする将来人口目標を掲げています。



出典：現況値は国勢調査、将来推計値は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

※人口総数には年齢不詳が含まれるため、年齢区分別人口の合計と人口総数は一致しない場合がある

図 3-1 人口構成別の推移と将来推計

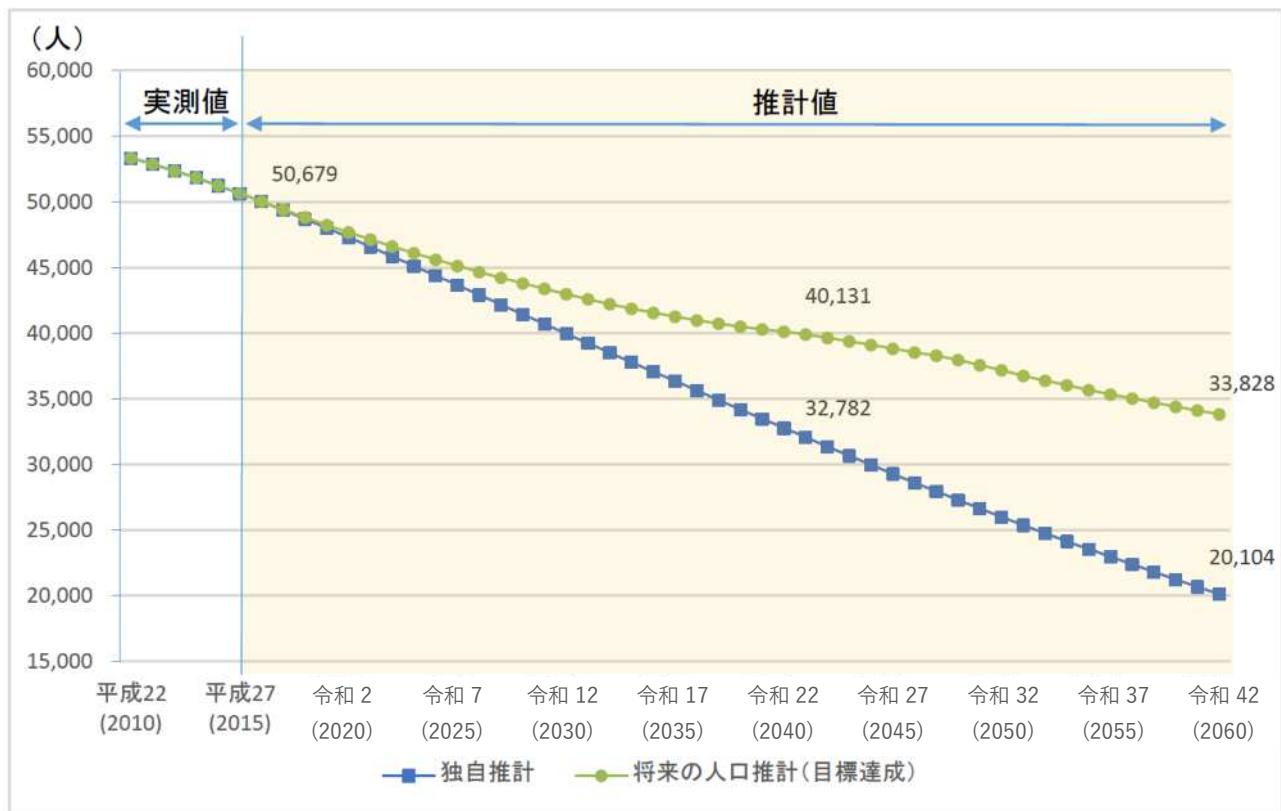
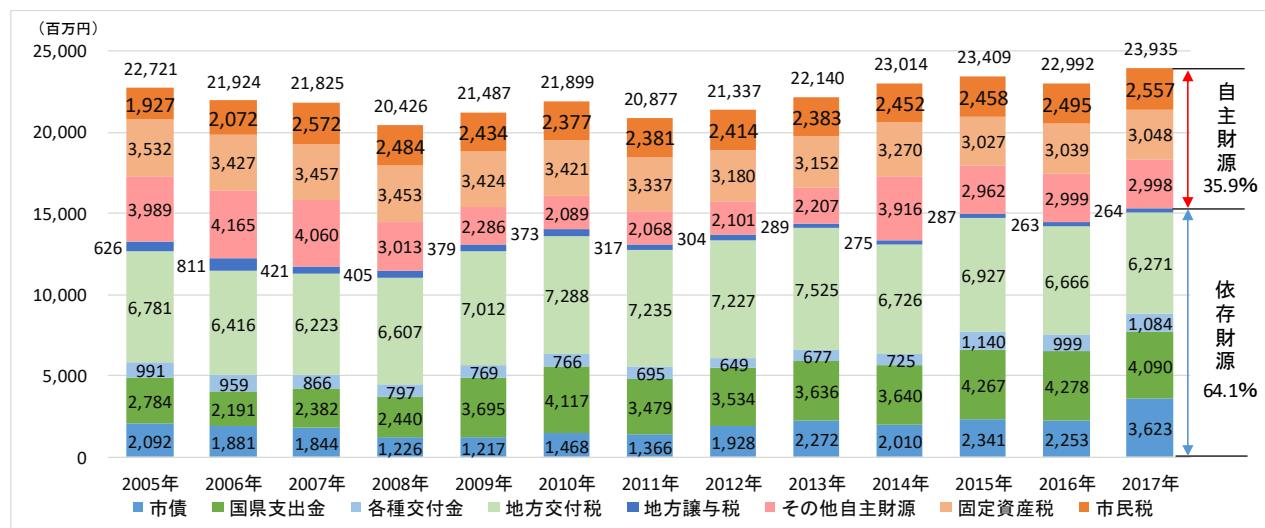


図 3-2 将来人口目標（人口ビジョン）

(2) 歳入・歳出の状況

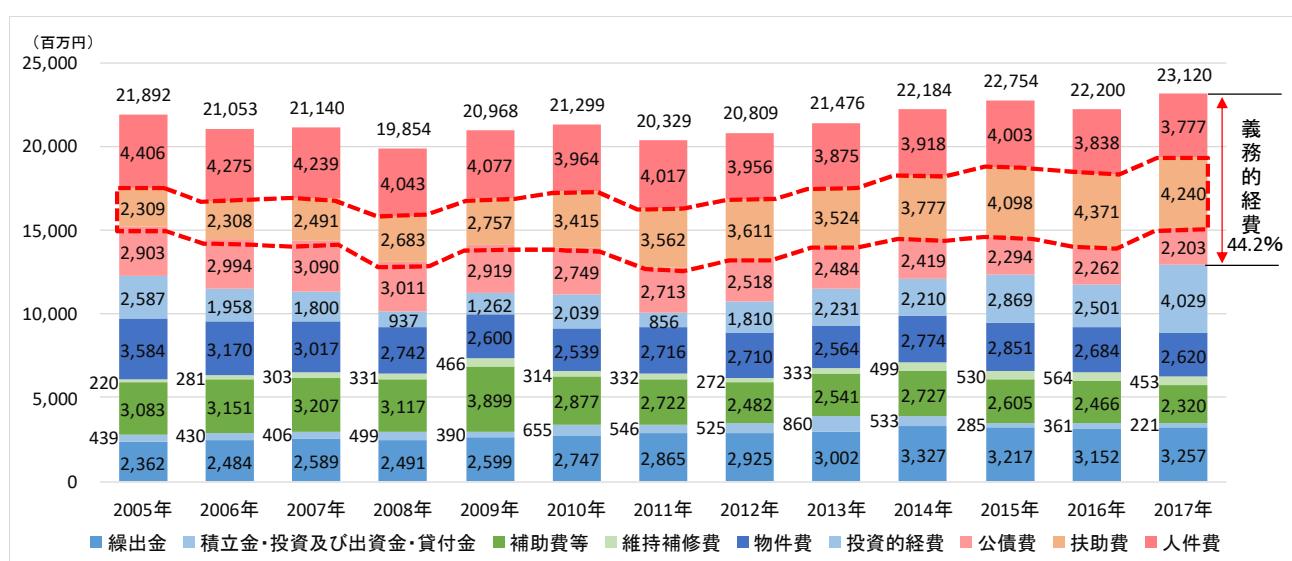
○普通会計の歳入決算額は、2011年度以降おおむね増加傾向であり、2017年度の歳入決算額は、約240億円となっています。2017年度の決算額の内訳をみると、依存財源の割合が64.1%と、地方交付税など国への依存度が高い状況です。また、市民税をみると、近年は25億円程度で推移していましたが、生産年齢人口の減少が予測されている中、今後は減少傾向となることが懸念されます。

○普通会計の歳出決算額は、2011年度以降おおむね増加傾向であり、2017年度の歳出決算額は、約230億円となっています。2017年度の決算額の内訳をみると、扶助費が約42億円であり、2005年度と比較すると約1.8倍増加しています。今後更なる高齢化の進行が予測されている中で、扶助費の割合が増加し、公共施設にかける投資的経費を現在の水準で確保がすることが難しくなると懸念されます。



出典：決算カード（平成29年度まで）

図 3-3 歳入の推移



出典：決算カード（平成29年度まで）

図 3-4 歳出の推移

(3) 公共施設の保有量

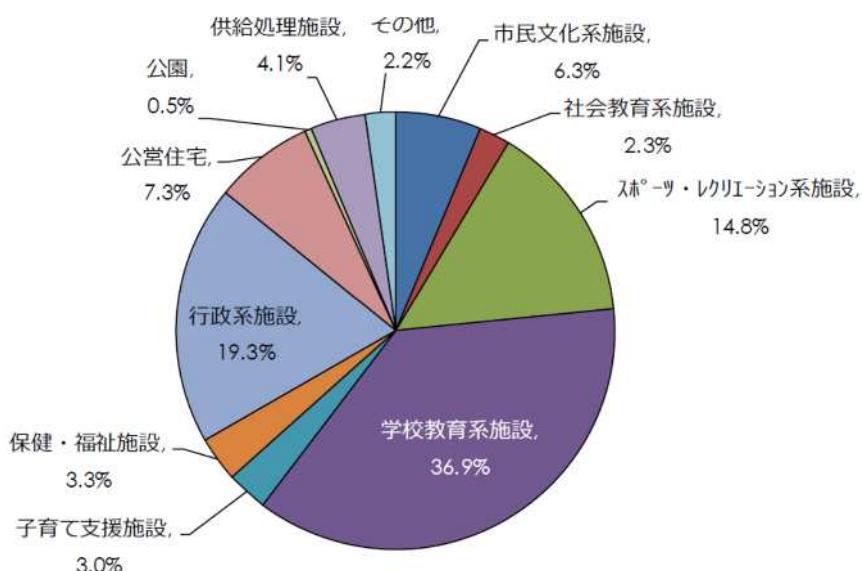
○本市が設置する公共施設は341施設、総延床面積は約297,000m²です。そのうち、学校教育系施設は36.9%と最も多くを占めています。

表 3-1 公共施設一覧

大分類	中分類	施設数	延床面積 (m ²)	構成比 (%)
市民文化系施設	集会施設	56	17,570.38	5.9%
	文化施設	2	1,110.31	0.4%
社会教育系施設	図書館	1	4,957.78	1.7%
	博物館等	8	1,866.39	0.6%
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	34	34,781.44	11.7%
	レクリエーション施設・観光施設	20	9,170.85	3.1%
学校教育系施設	学校	21	106,907.00	36.0%
	その他教育施設	3	2,836.95	1.0%
子育て支援施設	幼稚園・保育園	13	7,294.43	2.5%
	児童施設	6	1,719.02	0.6%
保健・福祉施設	高齢福祉施設	2	1,771.88	0.6%
	障害福祉施設	1	163.96	0.1%
	保健施設	3	6,086.82	2.0%
	その他社会福祉施設	3	1,767.04	0.6%
行政系施設	庁舎等	5	12,695.37	4.3%
	消防施設	54	2,796.17	0.9%
	その他行政系施設	2	41,888.15	14.1%
公営住宅	公営住宅	23	21,720.00	7.3%
公園	公園	23	1,423.89	0.5%
供給処理施設	供給処理施設	22	12,047.09	4.1%
その他	その他	39	6,595.65	2.2%
計		341	297,170.57	100.0%

※端数処理の関係上数値の合計が一致しない場合がある。

出典：沼田市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定期点）



出典：沼田市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定期点）

図 3-5 公共施設の施設類型別の延床面積割合

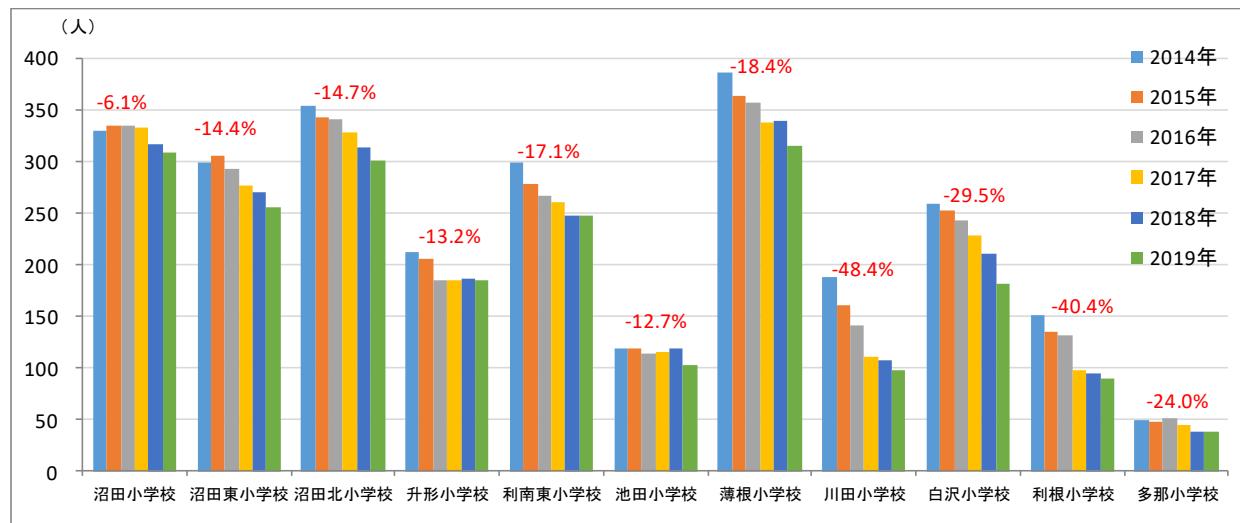
2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 児童生徒数及び学級数の変化

① 小学校

○2014年以降の児童数の推移をみると、全ての小学校で減少傾向となっています。

○2014年と2019年の児童数を比較すると、川田小学校、利根小学校の減少率は40%以上と大きく減少しています。



出典：府内資料（令和2年3月時点）

図 3-6 児童数の推移

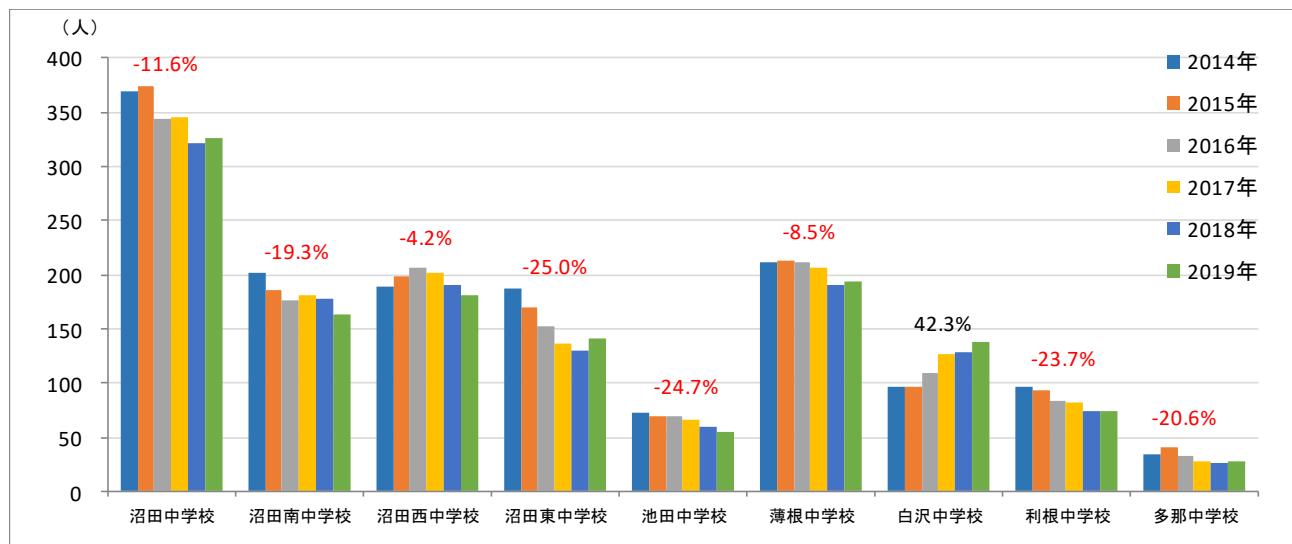
表 3-2 児童、学級数の推移

	区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
沼田小学校	児童数 (人)	329	334	334	332	317	309
	学級数 (学級)	13	14	14	13	13	14
沼田東小学校	児童数 (人)	298	305	292	276	270	255
	学級数 (学級)	14	14	14	14	14	13
沼田北小学校	児童数 (人)	353	343	340	327	314	301
	学級数 (学級)	15	16	15	14	14	14
升形小学校	児童数 (人)	212	206	184	184	186	184
	学級数 (学級)	11	11	10	11	11	11
利南東小学校	児童数 (人)	298	278	267	260	248	247
	学級数 (学級)	13	13	13	13	13	12
池田小学校	児童数 (人)	118	118	114	115	119	103
	学級数 (学級)	7	7	7	7	6	7
薄根小学校	児童数 (人)	386	363	356	337	339	315
	学級数 (学級)	16	15	15	16	16	15
川田小学校	児童数 (人)	188	160	141	111	107	97
	学級数 (学級)	9	8	7	7	7	7
白沢小学校	児童数 (人)	258	252	242	228	211	182
	学級数 (学級)	12	13	11	13	12	9
利根小学校	児童数 (人)	151	135	132	98	95	90
	学級数 (学級)	19	18	8	7	7	7
多那小学校	児童数 (人)	50	48	51	45	38	38
	学級数 (学級)	6	6	6	6	6	6
計		2,641	2,542	2,453	2,313	2,244	2,121
学級数 (学級)		135	135	120	121	119	115

出典：府内資料（令和2年3月時点）

② 中学校

○生徒数の推移をみると、2014年以降減少傾向となっていましたが、2018年から2019年は横ばいとなっています。中学校別では、横ばい又は減少傾向が多くなっていますが、白沢中学校は増加傾向となっています。



出典：府内資料（令和2年3月時点）

図 3-7 生徒数の推移

表 3-3 生徒数、学級数の推移

	区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
沼田中学校	生徒数 (人)	370	374	343	345	322	327
	学級数 (学級)	14	13	12	13	11	13
沼田南中学校	生徒数 (人)	202	185	176	181	178	163
	学級数 (学級)	9	9	8	8	8	8
沼田西中学校	生徒数 (人)	189	199	206	202	191	181
	学級数 (学級)	8	8	8	8	8	6
沼田東中学校	生徒数 (人)	188	170	152	137	130	141
	学級数 (学級)	7	7	7	6	6	8
池田中学校	生徒数 (人)	73	70	70	66	60	55
	学級数 (学級)	4	4	3	3	3	3
薄根中学校	生徒数 (人)	212	213	211	207	190	194
	学級数 (学級)	8	7	7	8	7	8
白沢中学校	生徒数 (人)	97	97	109	127	129	138
	学級数 (学級)	4	4	5	6	7	6
利根中学校	生徒数 (人)	97	93	84	82	74	74
	学級数 (学級)	4	3	4	4	5	5
多那中学校	生徒数 (人)	34	40	33	27	26	27
	学級数 (学級)	4	4	4	4	4	3
計	生徒数 (人)	1,462	1,441	1,384	1,374	1,300	1,300
	学級数 (学級)	62	59	58	60	59	60

出典：府内資料（令和2年3月時点）

(1)-2 各学校別の児童生徒数と学級数

令和6年4月1日までの出生数から推計した、小学校は令和12年度、中学校は令和18年度の児童生徒数と学級数の予測です。

小学校	令和6年度		令和12年度		令和6年度との比較	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
沼田小学校	272	12	204	8	▲ 68	▲ 4
沼田東小学校	229	10	146	7	▲ 83	▲ 3
沼田北小学校	222	10	194	8	▲ 28	▲ 2
升形小学校	181	7	130	6	▲ 51	▲ 1
利南東小学校	215	9	163	7	▲ 52	▲ 2
池田小学校	53	5	44	4	▲ 9	▲ 1
薄根小学校	269	12	128	6	▲ 141	▲ 6
川田小学校	95	6	65	6	▲ 30	—
白沢小学校	154	6	99	6	▲ 55	—
利根小学校	74	5	43	4	▲ 31	▲ 1
多那小学校	23	4	16	3	▲ 7	▲ 1
計	1,787	86	1,232	65	▲555	▲21

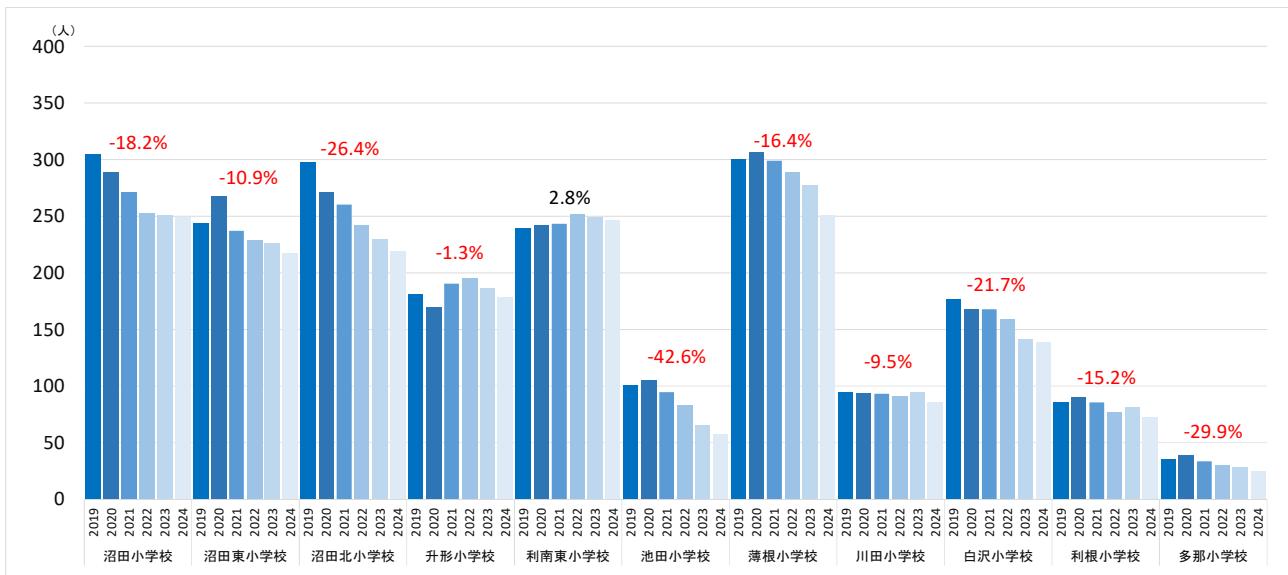
中学校	令和6年度		令和18年度		令和6年度との比較	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
沼田中学校	249	9	155	6	▲ 94	▲ 3
沼田南中学校	159	6	106	4	▲ 53	▲ 2
沼田西中学校	124	5	78	3	▲ 46	▲ 2
沼田東中学校	108	5	81	3	▲ 27	▲ 2
池田中学校	52	3	21	3	▲ 31	—
薄根中学校	159	6	49	3	▲ 110	▲ 3
白沢中学校	85	3	44	3	▲ 41	—
利根中学校	37	3	23	3	▲ 14	—
多那中学校	14	3	8	2	▲ 6	▲ 1
計	987	43	565	30	▲422	▲13

- 令和6年度の児童生徒数と学級数は、令和6年5月1日現在の実数です。
- 学級数は、現在の学校編制基準に基づき全児童生徒数から算出しています。
- 複式学級を考慮した学級数ですが、基準が異なる特別支援学級は考慮していません。

出典：沼田市新たな学校づくり実施計画（令和7年3月策定）から抜粋

(2) 児童生徒数の将来推計

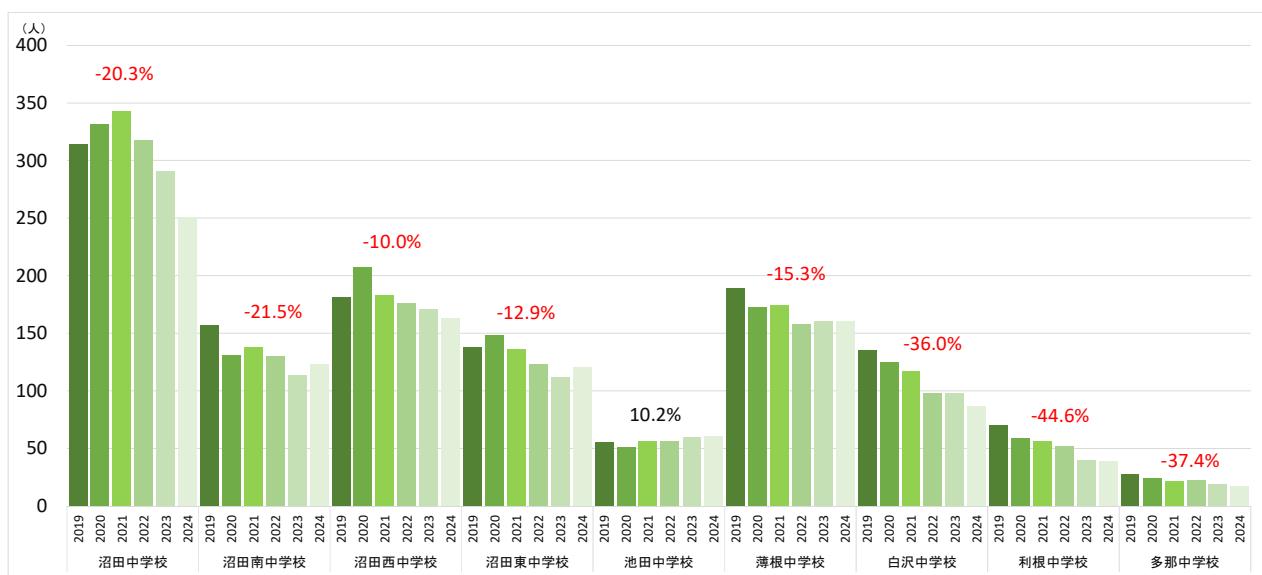
○群馬県年齢別人口調査報告書（平成 31 年 4 月）を基にコー ホート変化率法で算出した児童数の将来推計結果を学校別にみると、2019 年と 2024 年を比較した増減率は、利南東小学校のみ増加し、その他の小学校は減少が予測されます。特に沼田北小学校、池田小学校、多那小学校で大きく減少が予測されています。



※群馬県年齢別人口調査報告書（平成 31 年 4 月）を基準にコー ホート変化率法で算出

図 3-8 児童数の将来推計

○群馬県年齢別人口調査報告書（平成 31 年 4 月）を基にコー ホート変化率法で算出した生徒数の将来推計結果を学校別にみると、2019 年と 2024 年を比較した増減率は、池田中学校のみ増加し、その他の中学校は減少が予測されます。特に白沢中学校、利根中学校、多那中学校で大きく減少が予測されています。



※群馬県年齢別人口調査報告書（平成 31 年 4 月）を基準にコー ホート変化率法で算出

図 3-9 生徒数の将来推計

(2)-1 沼田市の出生数と児童生徒数の推移

沼田市における出生数は、令和4年が203人、令和5年は174人となり、以前に比べて大幅に減少しています。現在、市内には小規模の学校が増えており、今後はさらに児童生徒数の減少が進むことが予測されています。

沼田市における出生数の推移 (平成17年～令和5年) 単位:人



沼田市の児童生徒数の推移 (平成21年度～令和12年度) 単位:人

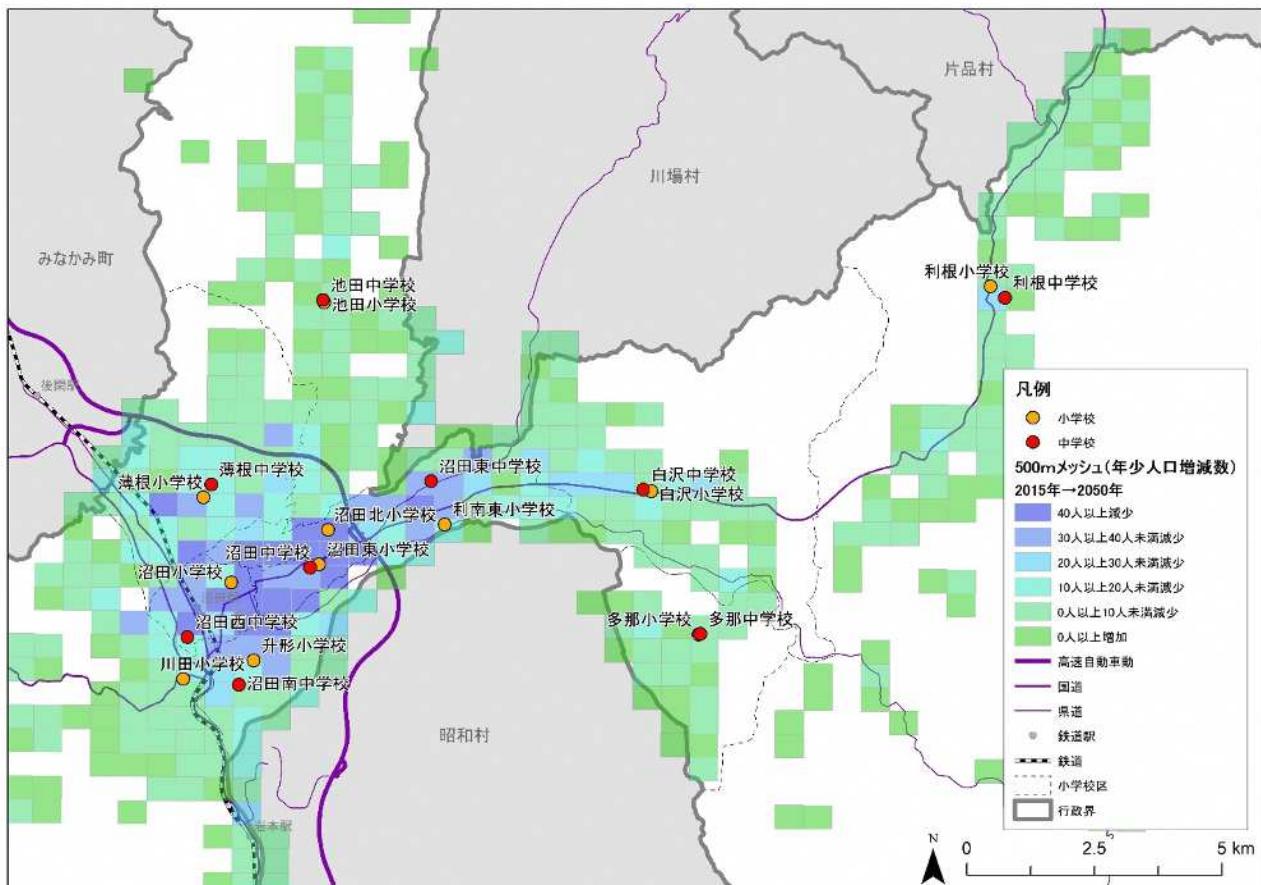


※児童生徒数は、平成21年度から平成6年度までは実数、令和7年度以降は出生数からの推計値です。

出典：沼田市新たな学校づくり実施計画（令和7年3月策定から抜粋）

(3) 学校施設の配置状況

○学校施設の配置状況と年少人口動態をみると、沼田中学校や沼田東小学校、沼田北小学校のある市街地周辺で、大きく減少すると予測されています。



※年少人口増減数は、2015年が国勢調査、2050年が国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年1月推計）」の推計値を使用して作成

図 3-10 学校施設の配置状況及び人口動態

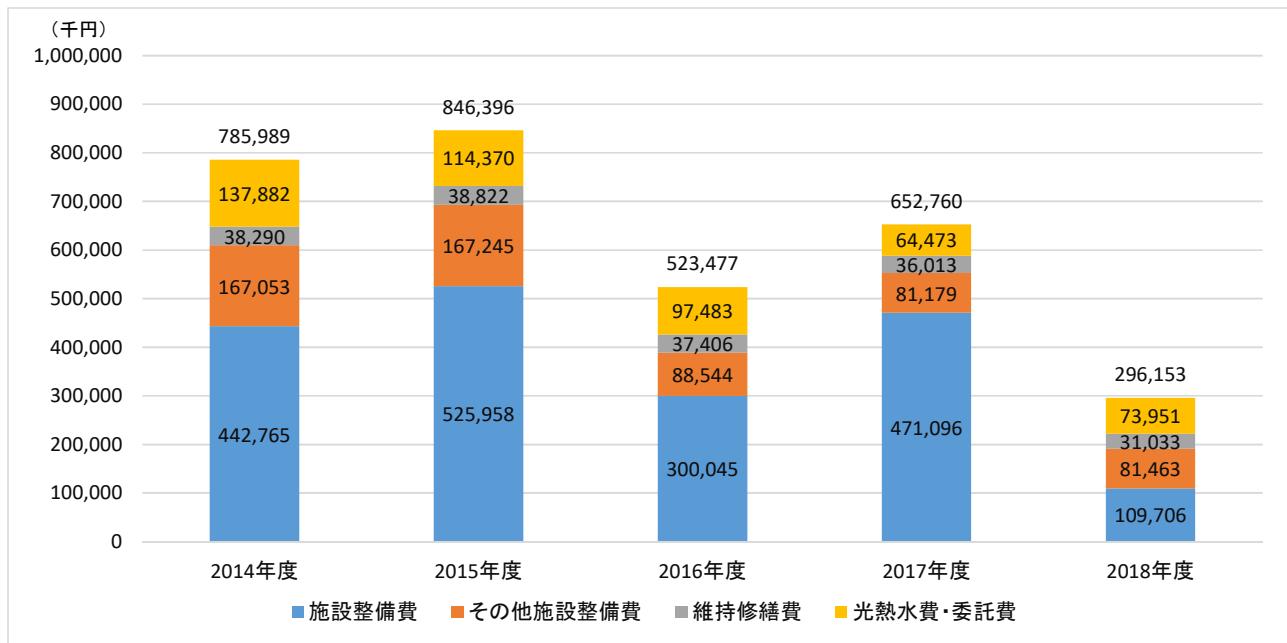
(4) 施設関連経費の推移

- 年度別の施設関連経費をみると、2015年度が最も多く、約8.5億円となっており、2018年度は最も少なく約3.0億円となっています。
- 過去5年間の平均でみると、総額は約6.2億円／年となっており、施設整備費は、約3.7億円となっています。

表 3-4 施設関連経費の推移

(単位：千円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	平均
施設整備費	442,765	525,958	300,045	471,096	109,706	369,914
その他施設整備費	167,053	167,245	88,544	81,179	81,463	117,097
維持修繕費	38,290	38,822	37,406	36,013	31,033	36,313
光熱水費・委託費	137,882	114,370	97,483	64,473	73,951	97,632
合計	785,990	846,396	523,477	652,761	296,153	620,955

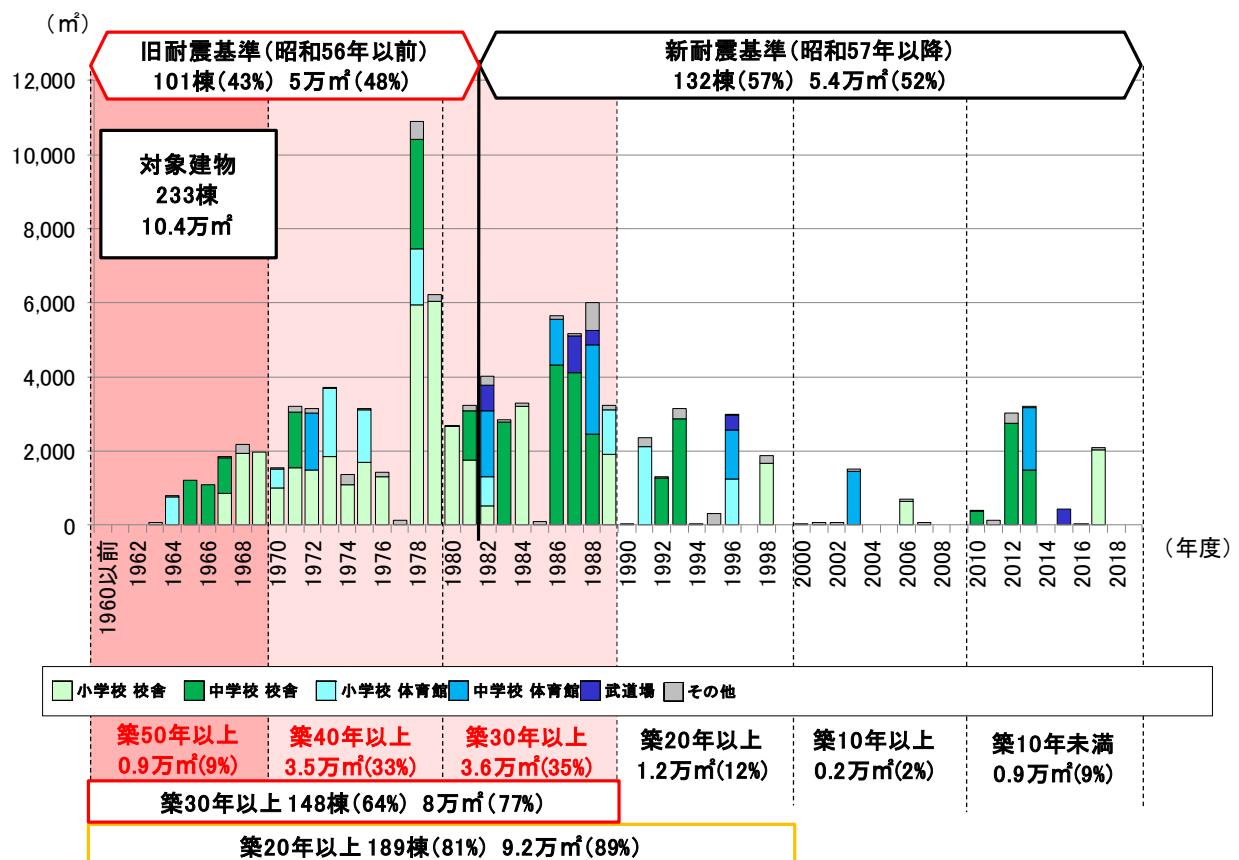


出典：府内資料（令和2年3月時点）

図 3-11 施設関連経費の推移

(5) 学校施設の保有量

- 1990年までに建築された築30年以上の建物が8.0万m²で全体の約77%を占めていることから、更新時期の集中が懸念されます。
- 沼田西中学校の普通教室棟など、既に更新時期を迎えている建築後50年を過ぎている建物が0.9万m² (9%)、計画期間内に更新時期を迎える築40年以上経過している建物が3.5万m² (33%) あります。

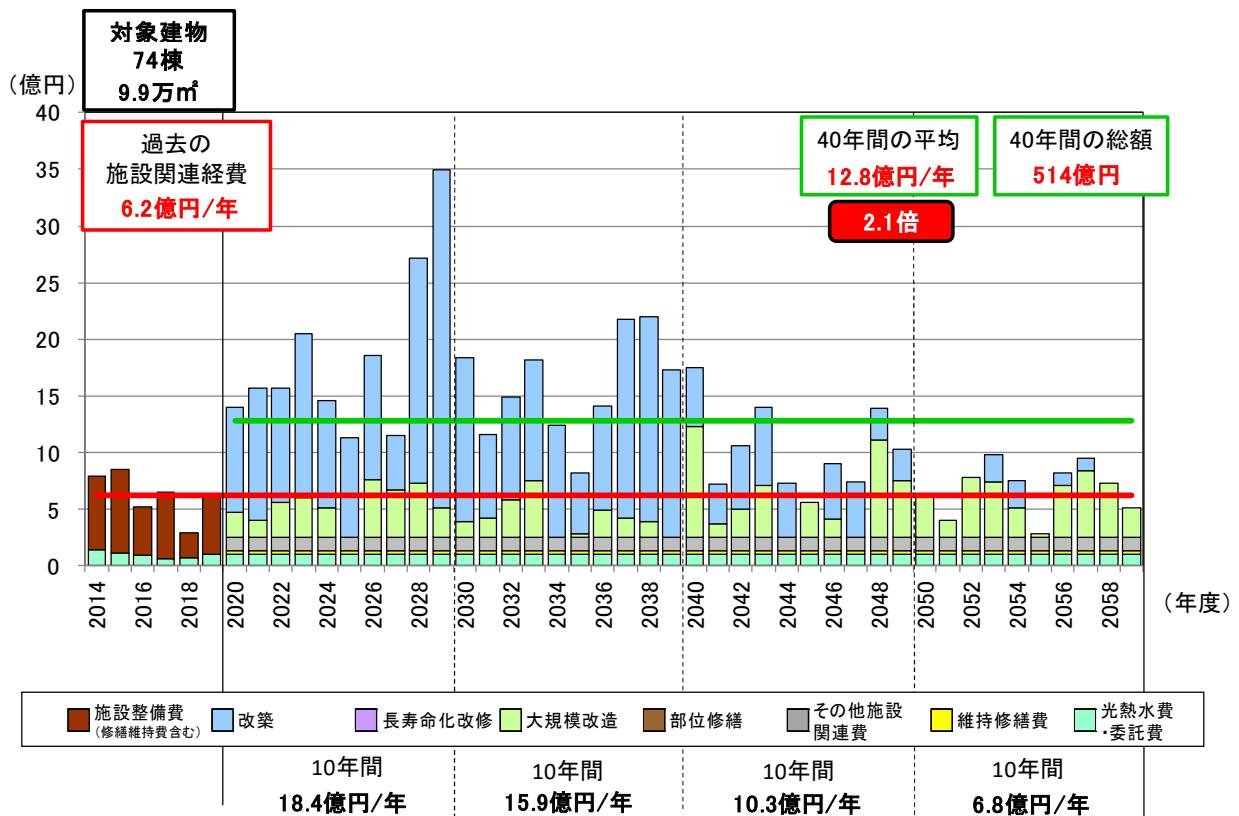


※200 m²以下の附属屋等の建物も含む

図 3-1-2 学校施設の建築年別整備状況 (令和2年3月時点)

(6) 今後の維持・更新コスト

- 建築後 20 年で大規模改修を実施、建築後 50 年で建て替えるという従来型の更新サイクルを続ける場合の今後の維持・更新コストを試算しました。
- 建築後 50 年で建て替える従来の修繕・改修を続けた場合、今後 40 年間のコストは 514 億円、40 年間の平均は 12.8 億円/年と試算されます。過去 5 年間の平均施設関連経費（約 6.2 億円/年）と比較すると約 2.1 倍の費用がかかると見込まれます。



【コスト試算条件】

- ・基準年度：2019 年
- ・試算期間：基準年の翌年から 40 年間
- ・改築：更新周期 50 年

改築単価 330,000 円/m²（公共施設等更新費用試算ソフト仕様書）

工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改修は 10 年以内に実施

- ・大規模改修：実施年数 20 年周期

工事期間 1 年

図 3-13 今後の維持・更新コスト（従来型）（令和2年3月時点）

3 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価

- 旧耐震基準の建物（1981年以前に建築）の建物について、既に実施されている耐震診断報告書等を基に、躯体の健全性を把握します。
- 耐震補強未実施で圧縮強度が 13.5 N/mm^2 以下の建物は、構造躯体の健全性が保たれていない可能性があるため、更新手法を検討する際には、詳細な調査が必要となりますが、対象施設で該当する棟はありません。

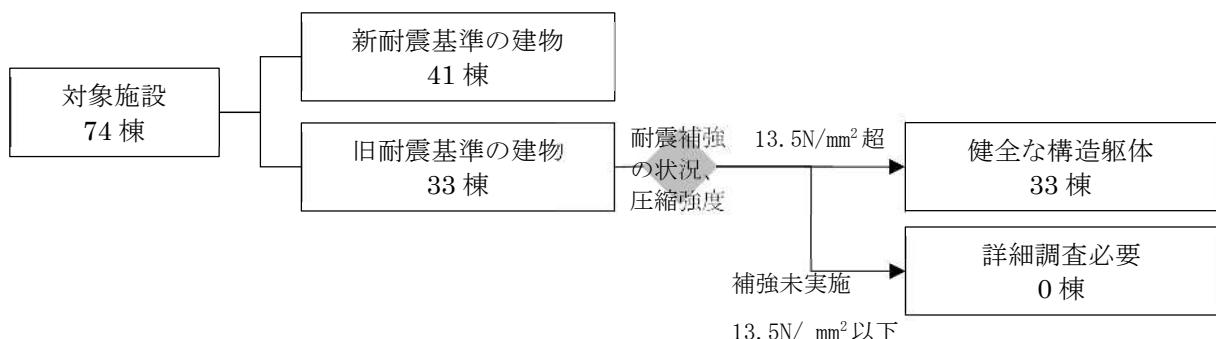


図 3-1-4 構造躯体の健全性の評価結果

(2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価

① 劣化状況調査の実施

- 劣化状況調査マニュアルに基づき、下表に示す項目について、目視による劣化状況調査を実施し、建築部位、設備ごとの劣化状況を A、B、C、D の 4 段階で評価しました。

表 3-5 主な調査項目

部位・設備	主な調査項目
構造部	ひび割れ、さび汁、白華、鉄筋露出、欠損等
建築部位	
屋根・屋上	屋上床面のひび割れ・浮き・はく離・摩耗等、目地・シーリング材の損傷等、排水溝・排水口・雨樋のつまり等
外壁	外壁仕上材のはく落・白華・ひび割れ・浮き・さび・変形等、目地・シーリング材の損傷等
内部	天井・壁の漏水跡、天井・壁・床の仕上材の浮き・たわみ・ひび割れ・はく落・損傷等
機械設備	給排水設備、空調・換気設備、衛生設備、消防設備の不具合等
電気設備	受変電設備、照明器具の不具合等

表 3-6 評価基準



評価	基準
A	おおむね良好
B	部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えてる) (設備が故障し、施設運営に支障を与えてる) 等

② 健全度

- 健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。
- 「①部位の評価点」と「②部位のコスト配分」を下図のように定め、「③健全度」を算定します。なお、「②部位のコスト配分」は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分（あんぶん）しています。
- 長寿命化改修の優先順位をつける際に、健全度を用いて優先度を決定します。

例 沼田小学校（特別教室棟）

①部位の評価点	②部位のコスト配分	③健全度			
評価点	部位	コスト配分			
A 100	1 屋根・屋上	5.1			
B 75	2 外壁	17.2			
C 40	3 内部仕上げ	22.4			
D 10	4 電気設備	8.0			
	5 機械設備	7.3			
	計	60.0			
総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60					
※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。					
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。					
算出例					
	部位	評価	評価点	配分	
	1 屋根・屋上	B	→ 75	× 5.1	= 383
	2 外壁	C	→ 40	× 17.2	= 688
	3 内部仕上げ	C	→ 40	× 22.4	= 896
	4 電気設備	C	→ 40	× 8.0	= 320
	5 機械設備	C	→ 40	× 7.3	= 292
					計 2,579
					÷ 60
					健全度 43

③劣化状況の実態

○現地での目視調査により評価している「屋根・屋上、外壁」について、「B、C、D」と評価した部位の劣化状況の一例を示します。

	B	C	D
屋根・屋上			
	沼田南中（普通教室棟） 伸縮目地が劣化 雑草が繁殖	升形小（管理棟） 防水層が広範囲に亘り摩耗	沼田小（特別教室棟） 防水シートが破損
			
	薄根中（特別教室棟） 一部が摩耗	沼田中（特別教室棟） 防水層の亀裂	升形小（普通教室棟1） 屋根材のさび
			
外壁	薄根中（特別教室棟） 外部仕上げに変色 基礎に亀裂	沼田小（普通教室棟2） 外壁が広範囲に亘り変色	沼田中（特別教室棟） 基礎が破損し、鉄筋が露出
			
	利根中（管理教室棟） 外部仕上げに亀裂	利南東小（教室1） 外壁仕上げに爆裂、浮き	沼田中（特別教室棟） 外壁の爆裂
			

(3) 構造躯体及び劣化状況調査の評価結果

○構造躯体及び劣化状況調査の評価結果は以下のとおりです。また、構造躯体及び劣化状況調査の評価結果や築年数を考慮し、試算上の更新手法を設定します。

○試算上の更新手法の設定条件は以下のとおりです。

- ・建築後 50 年を経過している建物は「改築」と設定
- ・構造躯体の健全性の評価で詳細調査が必要と判定された建物は「改築」と設定
- ・劣化状況調査の結果健全度が著しく低い建物は「改築」と設定
- ・その他の建物は「長寿命」と設定

表 3-7 構造躯体及び劣化状況調査の評価結果（小学校）

施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	試算上の設定	備考
					西暦	和暦		基準	診断	補強										
					基準 2019															
沼田小学校	特別教室棟	RC	2	910	1973	S48	46	旧	済	-	H22	27.8	D	C	D	C	C	26	改築	
沼田小学校	屋内運動場	RC	2	1,418	1975	S50	44	旧	済	済	H22	25.7	B	B	A	A	81	長寿命	H23 大規模改造成(屋根、内部、電気)、耐震補強	
沼田小学校	普通教室棟1	RC	3	1,821	1979	S54	40	旧	済	済	H21	25.8	B	B	A	A	A	91	長寿命	H28 大規模改造成(すべて)、耐震補強
沼田小学校	普通教室棟2	RC	2	1,774	1981	S56	38	旧	済	-	H21	25.8	B	C	B	B	B	65	長寿命	
沼田小学校	管理棟(中央校舎)	W	2	659	2006	H18	13	新	-	-	-	-	B	B	B	A	A	81	長寿命	
沼田東小学校	教室1	RC	3	3,535	1970	S45	49	旧	済	済	-	-	B	C	B	A	A	71	長寿命	H13 大規模改造成(すべて)
沼田東小学校	教室2	RC	2	1,500	1972	S47	47	旧	済	-	H10	18.0	B	B	A	A	A	81	長寿命	H13 大規模改造成(すべて)
沼田東小学校	屋内運動場	RC	1	1,125	1973	S48	46	旧	済	済	H19	25.7	B	B	C	C	C	53	長寿命	
沼田北小学校	普通教室棟	RC	3	3,209	1978	S53	41	旧	済	-	H21	30.0	B	B	C	C	C	53	長寿命	H22 耐震改修
沼田北小学校	普通教室棟・特別教室棟	RC	3	2,752	1978	S53	41	旧	済	済	H26	25.7	B	C	C	C	C	43	長寿命	H28 耐震補強
沼田北小学校	屋内運動場	RC	2	1,501	1978	S53	41	旧	済	済	H18	24.1	B	B	A	A	A	91	長寿命	H27 大規模改造成(すべて)、耐震補強
升形小学校	管理棟	RC	3	1,411	1973	S48	46	旧	済	済	-	-	C	C	B	A	A	68	長寿命	H26 大規模改造成(すべて)、耐震補強
升形小学校	普通教室棟1	RC	2	881	1980	S55	39	旧	済	-	-	-	D	B	D	B	B	45	長寿命	
升形小学校	屋内運動場	RC	2	1,262	1996	H6	23	新	-	-	-	-	B	B	A	B	B	75	長寿命	H30 防災機能強化
升形小学校	普通教室棟2	W	2	1,281	1998	H10	21	新	-	-	-	-	B	B	A	A	A	91	長寿命	
利南東小学校	教室1	RC	3	1,792	1980	S55	39	旧	済	-	H21	26.0	B	C	B	B	B	65	長寿命	
利南東小学校	屋内運動場	S	1	780	1982	S57	37	新	-	-	-	-	C	C	B	B	B	62	長寿命	
利南東小学校	教室2	RC	3	1,917	1989	H1	30	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
池田小学校	屋内運動場	RC	1	710	1973	S48	46	旧	済	済	-	-	B	B	A	A	A	91	長寿命	H26 大規模改造成(外部、内部、機械、電気)、耐震補強
池田小学校	教室	RC	3	3,216	1984	S59	35	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根小学校	教室1	RC	2	1,580	1969	S44	50	旧	済	済	-	-	A	B	C	C	C	55	改築	
薄根小学校	教室2	RC	3	2,283	1979	S54	40	旧	済	-	H21	26.0	B	B	C	C	C	53	長寿命	
薄根小学校	屋内運動場	RC	2	1,201	1989	H1	30	新	-	-	-	-	C	B	B	B	B	72	長寿命	H29 防災機能強化
薄根小学校	教室3	RC	2	390	1998	H10	21	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
川田小学校	教室1	RC	3	2,355	1975	S50	44	旧	済	済	-	-	B	C	A	A	A	81	長寿命	H25 大規模改造成(すべて)、耐震補強
川田小学校	教室2	RC	4	1,315	1976	S51	43	旧	済	済	H21	25.0	B	B	A	A	A	91	長寿命	H22 大規模改造成(すべて)、耐震補強
川田小学校	屋内運動場	RC	2	1,247	1991	H3	28	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
白沢小学校	職員室	RC	3	861	1967	S42	52	旧	済	済	-	-	B	C	B	B	B	65	改築	H19 耐震補強
白沢小学校	多目的室	RC	3	516	1968	S43	51	旧	済	済	-	-	B	C	C	B	B	52	改築	H19 耐震補強
白沢小学校	便所	RC	3	231	1968	S43	51	旧	済	済	-	-	B	C	C	C	C	43	改築	
白沢小学校	屋内運動場	S	1	765	1964	S39	55	旧	済	済	-	-	B	C	C	B	B	52	改築	H22 耐震補強
白沢小学校	教室	RC	3	1,972	1979	S54	40	旧	済	済	H21	24.1	A	C	C	C	C	45	長寿命	H27 耐震補強、大規模改造成(トイレ)
利根小学校	屋内運動場	S	1	510	1970	S45	49	旧	済	済	-	-	B	A	A	A	A	91	長寿命	H29 防災機能強化
利根小学校	教室	RC	3	2,038	2017	H29	2	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命	
多那小学校	管理教室棟	RC	2	615	1968	S43	51	旧	済	済	-	-	C	C	C	C	C	40	改築	H21 耐震補強
多那小学校	教室棟	RC	2	441	1982	S57	37	新	-	-	-	-	B	B	C	B	B	62	長寿命	
多那小学校	屋内運動場	S	1	866	1991	H3	28	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	

(令和2年3月時点)

表 3-8 構造躯体及び劣化状況調査の評価結果（中学校）

施設名	建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			調査年度	圧縮強度(N/mm)	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	試算上の設定	備考
					西暦	和暦		基準	診断	補強										
沼田中学校	特別教室棟	RC	3	1,328	1981	S56	38	旧	済	-	H22	29.4	C	D	C	B	B	40	長寿命	
沼田中学校	屋内運動場	RC	2	1,796	1982	S57	37	新	-	-	-	-	B	B	C	B	B	62	長寿命	
沼田中学校	格技場	S	2	698	1982	S57	37	新	-	-	-	-	B	B	C	B	B	62	長寿命 H29 大規模改造(屋根)、防災機能強化	
沼田中学校	教室1	W	1	1,564	2012	H24	7	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命	
沼田中学校	教室2	W	1	1,199	2012	H24	7	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命	
沼田中学校	教室3	W	1	1,496	2013	H25	6	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命	
沼田南中学校	普通教室棟	RC	3	4,309	1986	S61	33	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
沼田南中学校	屋内運動場	RC	2	1,237	1986	S61	33	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
沼田南中学校	格技場	S	1	375	1987	S62	32	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命 H30 防災機能強化	
沼田西中学校	普通教室棟	RC	3	3,046	1985	S40	54	旧	済	済	H19	18.0	B	C	B	B	B	65	改築 H7 大規模改造(すべて)	
沼田西中学校	会議室	RC	1	222	1967	S42	52	旧	済	済	-	-	B	C	C	C	C	43	改築	
沼田西中学校	特別教室棟1	RC	3	1,157	1971	S46	48	旧	済	済	H19	19.3	B	B	B	B	B	75	長寿命 H7 大規模改造(すべて)、H27 耐震補強	
沼田西中学校	特別教室棟2	S	1	342	1971	S46	48	旧	済	済	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命 H7 大規模改造(すべて)、H24 耐震補強	
沼田西中学校	屋内運動場	S	2	1,691	2013	H25	6	新	-	-	-	-	A	B	A	A	A	93	長寿命	
沼田東中学校	普通教室棟	RC	3	1,623	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
沼田東中学校	特別教室棟	RC	3	822	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
沼田東中学校	屋内運動場	RC	2	1,200	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
沼田東中学校	格技場	S	1	375	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命 H30 防災機能強化	
池田中学校	普通教室棟	RC	3	1,653	1983	S58	36	新	-	-	-	-	B	C	B	B	B	65	長寿命	
池田中学校	特別教室棟	RC	3	1,286	1992	H4	27	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
池田中学校	屋内運動場	RC	2	1,311	1996	H8	23	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
池田中学校	格技場	RC	2	390	1996	H8	23	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根中学校	特別教室棟1	RC	3	1,120	1983	S58	36	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根中学校	特別教室棟2	RC	3	766	1993	H5	26	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根中学校	管理棟	RC	2	468	1993	H5	26	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根中学校	普通教室棟	RC	3	1,654	1993	H5	26	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
薄根中学校	屋内運動場	RC	2	1,450	2003	H15	16	新	-	-	-	-	B	B	A	A	A	91	長寿命	
薄根中学校	柔剣道場	S	1	426	2015	H27	4	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命 H30 防災機能強化	
白沢中学校	屋内運動場	S	1	1,538	1972	S47	47	旧	済	済	H18	19.0	B	B	C	C	C	53	長寿命 H26 耐震補強、H27 防災機能強化(外壁等)	
白沢中学校	普通教室棟	RC	4	2,760	1978	S53	41	旧	済	済	H21	25.6	B	B	C	C	C	53	長寿命 H28 耐震補強	
白沢中学校	特別教室棟	S	1	203	1978	S53	41	旧	済	済	-	-	C	B	C	C	C	50	長寿命 H24 耐震補強	
白沢中学校	柔剣道場	S	2	628	1987	S62	32	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命 H30 防災機能強化	
利根中学校	管理教室棟	RC	3	3,802	1987	S62	32	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
利根中学校	特別教室棟	S	1	312	1987	S62	32	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
利根中学校	食堂	S	1	336	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
利根中学校	屋内運動場	S	2	1,482	1988	S63	31	新	-	-	-	-	B	B	B	B	B	75	長寿命	
多那中学校	教室棟	S	1	365	2010	H22	9	新	-	-	-	-	A	A	A	A	A	100	長寿命	

(令和2年3月時点)

4 長寿命化した場合のコストの見通し

- 長寿命化の考え方により、長寿命化を実施と判定された建物については、長寿命化を前提とし、文部科学省の試算ソフトにより試算した場合、今後40年間の維持・更新コストは、総額で約479億円、1年あたり約12億円が必要になると試算されます。
- 改築を中心に実施する従来型に比べ、今後40年間の総額で約35億円、1年あたり約0.8億円の低減につながります。
- 長寿命化を前提とした試算においても、過去5年間の施設関連経費と比較すると、約1.9倍の費用が必要となるとともに、突出して費用のかかる年があるため、維持・更新コストの平準化が必要となります。

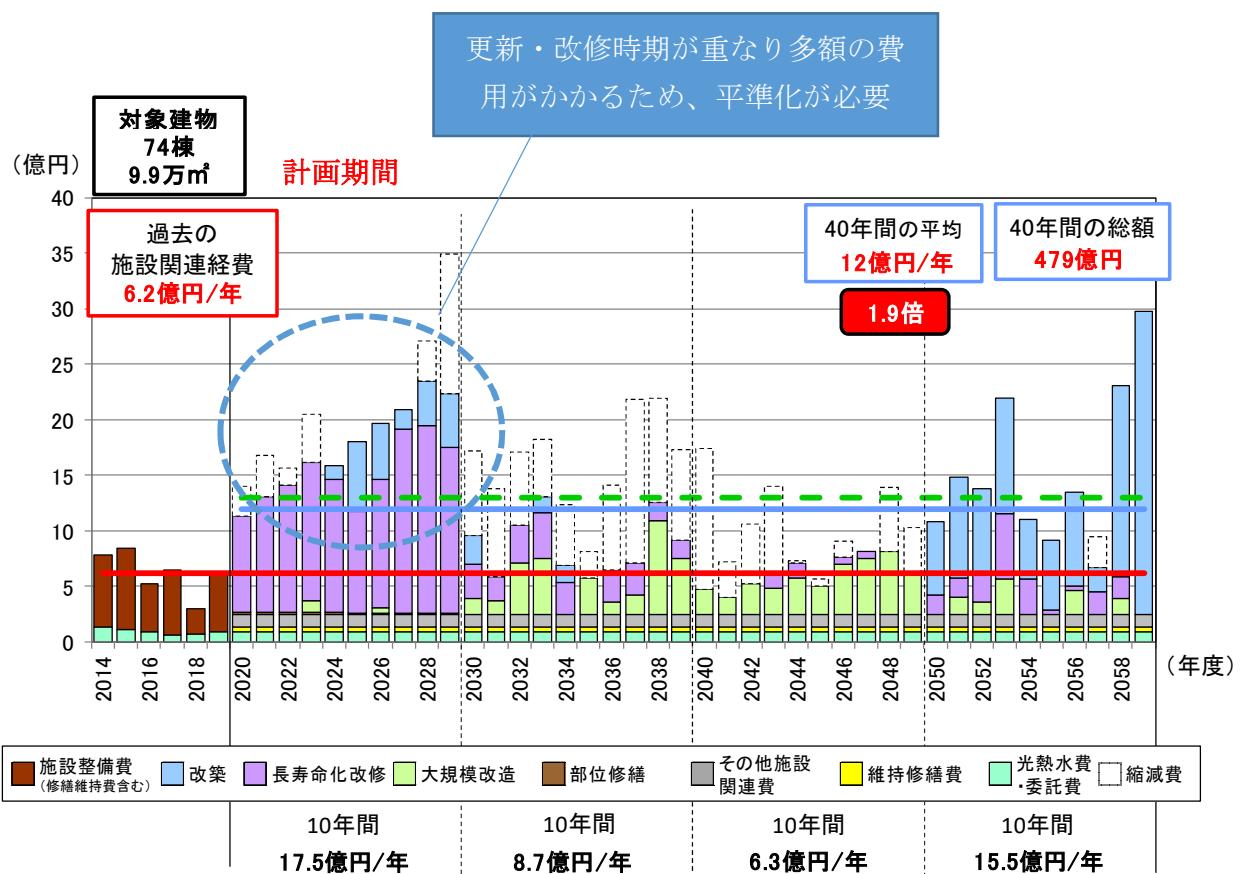


図 3-15 将来の維持・更新コスト（長寿命化型）（令和2年3月時点）

基準年度		2019	西暦
試算期間: 基準年の翌年度から40年間			
改築	60	年	80
更新周期	60	年	80
<改築、要調査> ※1 <長寿命> ※1			
改築	2	年	10
改築	2	年	10
改築	2	年	10
工事期間 2 実施年数より古い建物の改築を 10 年以内に実施			
長寿命化改修			
改修周期	40	年	2
改修周期	2	年	10
<長寿命> ※1 工事期間 2 実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施			
大規模改造			
改修周期	20	年周期	
(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)			
部位修繕	5	年以内に部位修繕を実施	※2
D評価:	今後	5	年以内に部位修繕を実施
C評価:	今後	10	年以内に部位修繕を実施
(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)			
A評価:	今後	10	年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く
部位修繕 ※2 ※2 軀体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。			

図 3-16 コスト試算条件（長寿命化型）

5 学校施設を取り巻く課題の整理

○前項までの学校施設状況を踏まえ、学校施設を取り巻く課題を整理します。

課題1 集中する更新時期への対応

本市が保有する学校施設の多くは1970年代から1980年代に建築されており、建築後30年以上が経過しています。そのため、一斉に更新時期が訪れ、大規模な更新費用が必要となることが予測されます。

また、普通会計の状況をみると、歳入の多くを依存財源が占める中で、高齢化の進行に伴う扶助費の増加も予測されて、更新費用を確保することが難しくなることが懸念されます。

学校施設の更新に当たっては、計画的に施設の長寿命化を図り、更新時期の集中を避ける必要があります。

課題2 計画的な老朽化対策

本市が保有する学校施設は建築後30年以上経過している施設が約8割を占めており、経年による老朽化や機能低下が進行しています。児童生徒の学習の場だけでなく、地域の人々の活動場所や災害時は避難所としても利用されるため、不具合の発生を未然に防ぐ予防保全型の維持管理により、計画的に老朽化対策を講じる必要があります。

課題3 施設環境の質的向上

多くの学校施設は建築当時の機能・性能のままとなっており、人口構造や社会情勢の変化に十分に対応できていない状況にあります。誰もが利用しやすい施設となるようバリアフリー化を図るなど時代の変化に応じた、施設環境の質的向上を図る必要があります。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の長寿命化計画の基本方針

① 公共施設等総合管理計画の基本方針

○上位計画である管理計画では、以下のとおりの基本方針が定められています。

沼田市公共施設等総合管理計画【抜粋】	
基本方針	<p>方針1 施設の長期利用</p> <ul style="list-style-type: none">定期的な点検と情報の蓄積により、計画的な管理体制を整え、長寿命化を実践します。 <p>方針2 施設の機能や規模の最適化</p> <ul style="list-style-type: none">人口減少・少子高齢化といった人口動態とともに変化する市民ニーズに適切に対応するため、総合的かつ計画的な施設整備を推進します。 <p>方針3 ライフサイクルコスト（LCC）の縮減と更新投資の平準化</p> <ul style="list-style-type: none">本計画に基づき総合的かつ計画的な管理を推進し、ライフサイクルコストの削減に努めます。また「予防保全」を重視し、施設の現状を把握した上で大規模な改修や建替えなどの更新の時期を調整し、更新投資の平準化に取り組みます。
施設類型ごとの基本方針 【学校】	<p>【統廃合】</p> <ul style="list-style-type: none">統廃合による適正化を図る。 <p>【複合化・多機能化】</p> <ul style="list-style-type: none">地域の拠点施設として、集会施設、子育て支援施設等との複合化・多機能化を検討する。 <p>【長寿命化・計画修繕】</p> <ul style="list-style-type: none">維持する施設は、予防保全型の維持管理により長寿命化を図る。 <p>【多機能化】</p> <ul style="list-style-type: none">行政と民間がパートナーを組んだ施設整備を検討する。

②長寿命化計画の基本方針

○管理計画の基本方針に即し、学校の目指すべき姿や学校を取り巻く課題を踏まえ、学校施設の長寿命化や維持管理に関する基本方針を以下に定めます。

方針1 予防保全型の維持管理

法定点検と日常的な自主点検により、施設の状況を把握し、予防保全型の維持管理を実施し、施設の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図ります。また、施設の状況を把握した上で更新等の時期を調整し、平準化に取り組みます。

方針2 社会情勢の変化に対応した整備

児童生徒の学習の場だけではなく、地域のコミュニティの場や災害時の避難所としても利用されるため、誰もが利用しやすい施設となるようバリアフリーに配慮した整備を行うなど、施設の質的向上を図ります。

方針3 施設の有効活用

今後、児童生徒数の減少により、余剰教室やスペースが生じた場合は、集会施設、子育て支援施設等との複合化・多機能化による有効活用の方法を検討します。

2 学校施設の規模・配置計画等の方針

○沼田市新たな学校づくり実施計画に基づき取組を進めます。

3 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化及び予防保全の方針

① 長寿命化の方針

○管理計画の基本方針に示される施設の長期活用の方針を踏まえ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築中心であった老朽化対策から長寿命化改修への転換を図ります。

○長寿命化改修を行う施設については、改修後 30 年以上使用するものとし、構造躯体の健全性向上やライフラインの更新のほか、省エネルギー化やバリアフリー化等を図り、社会的要請への対応を行います。

○経年による機能・性能への劣化に対しては、大規模改修を実施し、施設の安全性・機能性の確保に努めます。

○築年数が経過し、耐用年数が迫っている建物や、躯体の劣化状況が激しいなど改修に多額の費用がかかる建物については、長寿命化せずに応急的な保全を行うなどし、標準的な使用年数までの安全性・機能性等の確保に努めます。

② 予防保全の方針

○建物をできる限り長く使うため、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけではなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を行う「予防保全」を実施していきます。

○「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させ、施設の不具合による被害のリスクの緩和や、改修等の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げるに努めます。

(2) 目標使用年数、改修周期の設定

① 目標使用年数の設定

○構造躯体の耐用年数は、各種法令等で異なります。本計画では、各種法令等を踏まえて標準的な建物の使用年数（長寿命化を図らない場合の使用年数）、更に長寿命化を図った場合の使用年数の目標（目標使用年数）について、以下のとおり設定します。

○なお、建物の個別の劣化状況や機能劣化への対応状況等に対する費用対効果などを総合的に判断した上で、目標使用年数に満たない建て替えに対応することも可能とします。

表 4-1 各種法令等による躯体構造別の耐用年数

建築物構造	1. 建築物の耐久計画	2. 建築工事標準仕様書	3. 減価償却	4. 学校施設財産処分	5. 公営住宅の耐用年数	6. 都市再開発法
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	60	65	事務所用 50 学校用 47	H12 年以前 60 H13 年以降 47	耐火 70	事務所、図書館等 50 学校 47
鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造、一部木造) (RC)						

1.建築物の耐久計画：建築物の耐久計画に関する考え方（1988年10月 日本建築学会）

2.建築工事標準仕様書：建築工事標準仕様書（JASS 5 鉄筋コンクリート工事 2009年 日本建築学会）

3.減価償却：減価償却資産の耐用年数に関する省令（改正：平成 30 年 3 月 31 日 財務省令第 31 号）

4.学校施設財産処分：学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～（平成 25 年 3 月 文部科学省）

5.公営住宅法：公営住宅法施行令（改正：平成 29 年 12 月 22 日 政令第 319 号）

6.都市再開発法：都市再開発法施行令（改正：平成 30 年 6 月 6 日 政令第 183 号）

表 4-2 目標使用年数の設定

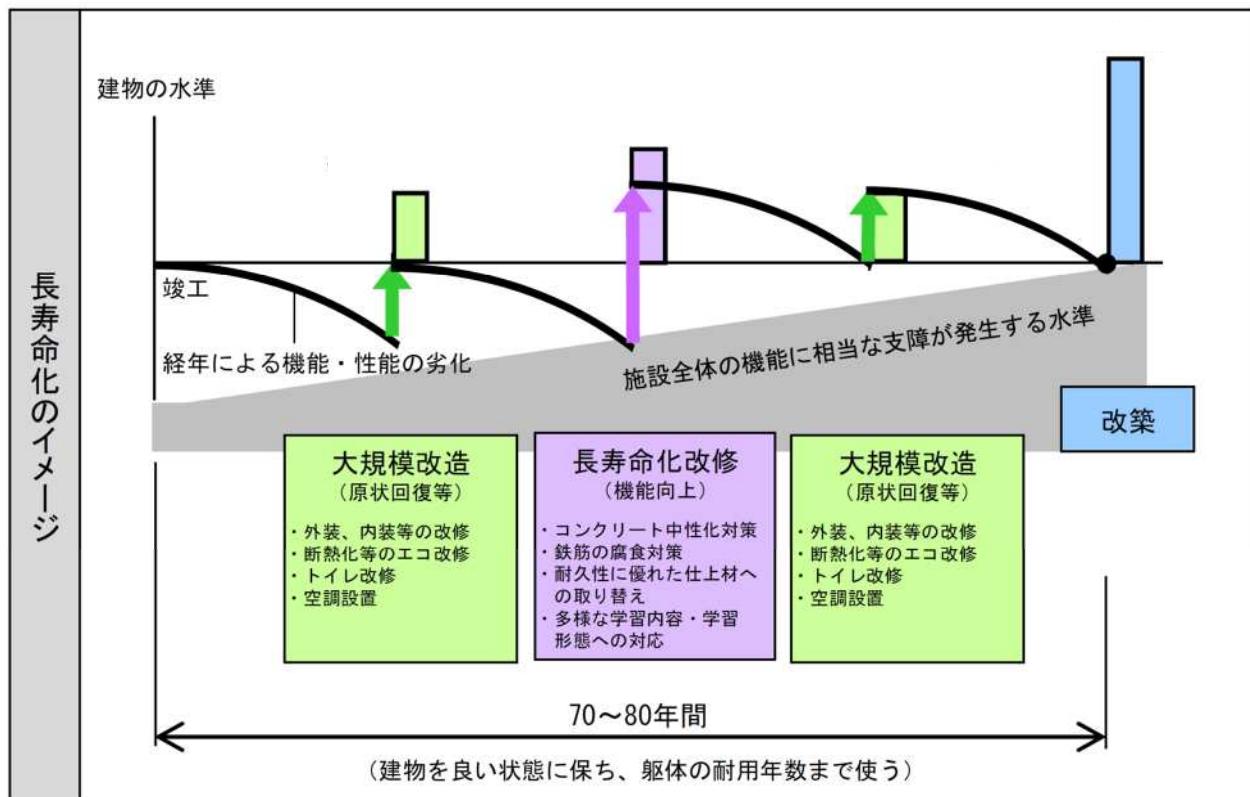
建物の種別	目標使用年数
長寿命化した場合の使用年数	80 年
標準的な使用年数	60 年

② 改修時期の設定

○長寿命化する建物については、機能・性能の低下を防ぎ、建物を良い状態に保ちながら、目標使用年数まで使用するため、大規模改修（原状回復等）と長寿命化改修（機能向上）の時期を以下のとおり設定します。

表 4-3 改修時期の設定

大規模改修時期	長寿命化改修時期
おおむね築 20 年、60 年	おおむね築 40 年



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

図 4-1 改修のイメージ

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1 改修等の整備水準

(1) 基本的事項

○改修等の実施に当たっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建築物の建築当初の水準に戻すだけでなく、省エネ化や学習環境の向上など、社会的ニーズに対応するために基本的性能の向上を図ります。

表 5・1 学校施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	耐震性、防災性・防犯対策、事故防止対策
機能性	設備 (FFストーブの設置、屋内運動場空調設備設置等)、ICT設備、ユニバーサルデザイン
社会性	地域コミュニティの拠点機能
環境保全性	環境負荷低減性 (LEDの設置等)、周辺環境保全性

○長寿命化の実施に当たっては、長寿命化に必要な性能を備えた部材、設備を積極的に採用するものとします。

表 5・2 長寿命化に必要な性能

性能	内容
耐久性	各部材について、ライフサイクルコストが最適でかつ、耐久性の高い材料を採用します。
メンテナンス性	清掃や点検、修繕等の維持管理業務を効率的に実施可能な設計とします。
省エネルギー性	自然エネルギーの活用や環境負荷の低減など、省エネルギー対応の設計とします。

（2）改修等の整備水準の設定

- 「第4章 学校施設整備の基本的な方針等」を踏まえ、長寿命化改修実施の際の整備水準を設定し、建物の整備レベルの統一化を図ります。

①耐久性回復のための整備

表 5-3 耐久性回復のための整備内容

部位・部材	内容
躯体	目標使用年数まで利用することを想定し、RC 造の場合は中性化対策を行うなど、躯体の状況に応じた適切な対策を実施します。
屋根・屋上	全面的な防水改修を基本とし、耐久性や断熱性、防水性に優れた材料・工法を選定します。また、笠木（かさぎ）やルーフドレイン、堅樋（たてどい）等も防水改修に併せて撤去・更新するものとします。
外壁	全面的な塗り直しを基本とし、耐久性に優れた材料を使用します。

②性能向上のための整備

表 5-4 性能向上のための整備内容

部位・部材	内容
内装	メンテナンス性、耐久性に優れた材料を使用します。また、多様な学習形態に応じた活動が可能となるよう教室の配置や、バリアフリーに配慮した施設整備を行います。
設備	省エネルギー効果の高い機器を選定します。照明器具は LED 照明を採用し、消費電力の低減を図ります。
トイレ	洋式便器の設置を行うとともに、トイレの床については、ビニル系床材を使用した乾式にするなど、衛生面・清掃面に配慮した整備を行います。また、バリアフリーに配慮し、床の段差解消や多目的トイレの設置を検討します。

2 維持管理の項目・手法等

- 長寿命化に当たっては、建築物の安全性を確保し、性能を適切に維持するために、建築物の劣化を早期に把握し、劣化状況に応じて早期かつ適切に対処することが必要となります。そのため、施設ごとの施設管理者によって定期的に建築物の劣化状況調査を実施します。
- 劣化状況調査の結果に基づいて、対象部位ごとに予防保全、事後保全の対処方法を決定し、計画的に修繕等を実施します。
- 劣化状況調査及び修繕の結果については、本市が保有する竣工図等の各種データと合わせて蓄積し、今後の劣化の予測、長寿命化改修の時期の検討に活用します。

第6章 長寿命化の実施計画

1 改修等の優先度

- 改修等については、今後の児童生徒数の増減等を注視し、学校施設の利用用途の見直しや施設の複合化等により、管理床面積の縮小を検討するとともに、小中学校の将来のあるべき姿を見据え、地域住民や保護者等の意見を聞きながら、施設の統廃合等について検討するものとします。
- 一斉に改修等を実施すると多額の費用がかかるため、建築年、大規模改修の実施状況を踏まえ、建物をグループ分けし、グループごとに改修等の考え方を整理します。
- グループ内での改修等を行う優先度は、劣化状況調査における健全度を参考に、基本的には建築年順に行うものとします。

表 6-1 グループごとの改修等の考え方

グループ名	対象	改修等の考え方
グループ A	建築後 50 年程度経過し、劣化が進行している建物	長寿命化改修は行わず、部位修繕や大規模改修を必要に応じて行い、改築まで使用します。
グループ B	建築後 40 年以上経過している建物	優先的に長寿命化改修を行い、長寿命化を図ります。
グループ C	建築後 30 年以上経過している建物	長寿命化改修を行い、長寿命化を図ります。
グループ D	建築後 30 年未満の建物	建築後 20 年、60 年をめどに大規模改修、建築後 40 年をめどに長寿命化改修を行い、計画的な保全を図ります。

表 6-2 建物のグループ分け

		健全度											
		~50点				51~70点				71点~			
		施設名	建物名	築年数	健全度	施設名	建物名	築年数	健全度	施設名	建物名	築年数	健全度
グループA	白沢小学校	便所	薄根小学校	51年	43点	沼田西中学校	教室1	50年	55点	沼田小学校	屋内運動場	44年	81点
	多那小学校	管理教室棟	白沢小学校	51年	40点	会議室	職員室	52年	65点	沼田小学校	普通教室棟	40年	91点
	沼田西中学校	特別教室棟	白沢小学校	52年	43点	沼田西中学校	多目的室	51年	52点	沼田西中学校	屋内運動場	49年	71点
	沼田小学校		沼田西中学校	46年	26点		屋内運動場	55年	52点			47年	81点
								54年	65点			41年	91点
	沼田北小学校	普通教室棟・特別教室棟	沼田東小学校	41年	43点	沼田北小学校	屋内運動場	46年	53点	沼田小学校	屋内運動場	46年	91点
	白沢小学校	教室	沼田東小学校	40年	45点	升形小学校	普通教室棟	41年	53点	沼田小学校	普通教室棟1	44年	81点
	白沢中学校	特別教室棟	薄根小学校	41年	50点	白沢中学校	管理棟	46年	68点	沼田東小学校	教室1	40年	91点
			白沢中学校				教室2	40年	53点	沼田東小学校	教室2	49年	71点
							屋内運動場	47年	53点	沼田東小学校	屋内運動場	47年	81点
グループB	沼田北小学校	普通教室棟・特別教室棟	沼田東小学校	41年	43点	沼田北小学校	普通教室棟	41年	53点	沼田小学校	屋内運動場	41年	91点
	白沢小学校	教室	沼田東小学校	40年	45点	升形小学校	管理棟	46年	68点	沼田小学校	普通教室棟	46年	91点
	白沢中学校	特別教室棟	薄根小学校	41年	50点	白沢中学校	教室2	40年	53点	沼田東小学校	屋内運動場	44年	81点
			白沢中学校				屋内運動場	47年	53点	沼田東小学校	普通教室棟	43年	91点
								41年	53点	沼田東小学校	屋内運動場	49年	91点
	沼田中学校	特別教室棟	川田小学校	38年	40点	沼田中学校	普通教室棟2	38年	65点	沼田中学校	特別教室棟1	48年	75点
	升形小学校	普通教室棟1	川田小学校	39年	45点	沼田中学校	教室1	39年	65点	沼田中学校	特別教室棟2	48年	93点
			沼田中学校				屋内運動場	37年	62点	沼田中学校	教室1	30年	75点
								37年	62点	沼田中学校	屋内運動場	35年	75点
								37年	62点	沼田中学校	普通教室棟	30年	72点
グループC	沼田中学校	特別教室棟	利根小学校	38年	40点	沼田中学校	利南東小学校	38年	65点	沼田中学校	屋内運動場	33年	75点
	升形小学校	普通教室棟1	利根小学校	39年	45点	沼田中学校	利南東小学校	39年	65点	沼田中学校	格技場	33年	75点
			沼田中学校				利南東小学校	37年	62点	沼田中学校	普通教室棟	31年	75点
							利南東小学校	37年	62点	沼田中学校	利根小学校	31年	75点
							沼田中学校	37年	62点	沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
							沼田中学校	37年	62点	沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
							沼田中学校	36年	65点	沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
										沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
										沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
										沼田中学校	沼田中学校	31年	75点
グループD	沼田小学校	管理棟	沼田中学校	13年	75点	沼田中学校	沼田中学校	13年	75点	沼田中学校	沼田中学校	13年	91点
	升形小学校	屋内運動場	沼田中学校	23年	91点	沼田中学校	沼田中学校	23年	75点	沼田中学校	沼田中学校	23年	91点
	升形小学校	普通教室棟2	沼田中学校	21年	75点	沼田中学校	沼田中学校	21年	75点	沼田中学校	沼田中学校	21年	91点
	薄根小学校	教室3	沼田中学校	21年	75点	沼田中学校	沼田中学校	21年	75点	沼田中学校	沼田中学校	21年	75点
	川田小学校	屋内運動場	沼田中学校	28年	75点	沼田中学校	沼田中学校	28年	75点	沼田中学校	沼田中学校	28年	100点
	利根小学校	教室	沼田中学校	2年	100点	沼田中学校	沼田中学校	2年	100点	沼田中学校	沼田中学校	2年	100点
	多那小学校	屋内運動場	沼田中学校	28年	75点	沼田中学校	沼田中学校	28年	75点	沼田中学校	沼田中学校	28年	93点
	沼田中学校	教室1	沼田中学校	7年	100点	沼田中学校	沼田中学校	7年	100点	沼田中学校	沼田中学校	7年	100点
	沼田中学校	教室2	沼田中学校	7年	100点	沼田中学校	沼田中学校	7年	100点	沼田中学校	沼田中学校	7年	100点
	沼田中学校	教室3	沼田中学校	6年	93点	沼田中学校	沼田中学校	6年	93点	沼田中学校	沼田中学校	6年	93点
グループD	沼田中学校	屋内運動場	沼田中学校	27年	75点	沼田中学校	沼田中学校	23年	75点	沼田中学校	沼田中学校	23年	75点
	池田中学校	特別教室棟	沼田中学校	23年	75点	沼田中学校	沼田中学校	23年	75点	沼田中学校	沼田中学校	23年	75点
	池田中学校	屋内運動場	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点
	薄根中学校	格技場	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点
	薄根中学校	特別教室棟2	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	91点
	薄根中学校	管理棟	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	91点
	薄根中学校	普通教室棟	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	75点	沼田中学校	沼田中学校	26年	100点
	薄根中学校	屋内運動場	沼田中学校	16年	91点	沼田中学校	沼田中学校	16年	91点	沼田中学校	沼田中学校	16年	91点
	薄根中学校	柔剣道場	沼田中学校	4年	100点	沼田中学校	沼田中学校	4年	100点	沼田中学校	沼田中学校	4年	100点
	多那中学校	教室棟	沼田中学校	9年	100点	沼田中学校	沼田中学校	9年	100点	沼田中学校	沼田中学校	9年	100点

(令和2年3月時点)

2 実施済の工事一覧

○本計画に基づき実施した工事は次のとおりです。

実施年度	工事名
令和2年	沼田東小学校屋内運動場大規模改修工事
令和4～5年	升形小学校北校舎大規模改修工事
令和4～5年	沼田中学校屋内運動場大規模改修工事

3 実施スケジュール

○本計画の「施設整備の基本的な方針等」に基づき、計画期間を2033年度までに、長寿命化等工事を実施する時期を定めてスケジュール化したものを表にすると次のとおりとなります。

学校名 施設名	延 床 面 積 (m ²)	築 年 数	グ ル ー プ	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
沼田小学校 普通教室棟2	1,774	38	B								
沼田小学校 特別教室棟	910	46	A								
沼田東小学校 教室1	3,535	49	B								
利南東小学校 (沼田東中学校) 普通・特別教室棟	2,445	31・31	C								
薄根小学校 教室1	1,580	50	A								
薄根小学校 教室2	2,283	40	B								
沼田中学校 特別教室棟	1,328	38	C								
沼田中学校 増築	999										
白沢中学校 普通教室棟	2,963	41	B								
義務教育学校	120										

1 情報基盤の整備と活用

○学校施設の基本情報、維持管理費等の管理費や劣化状況調査、修繕履歴等を一元管理することで、計画的かつ効率的な管理を推進します。

2 推進体制等の整備

○関係各課が連携し、情報共有を行いながら、全庁的な体制で本計画のマネジメントの対応を図っていきます。また、施設の維持管理については、各施設の職員による劣化状況調査や法定点検により、不具合の早期発見と修繕対応を図ります。

3 フォローアップ

○計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、PDCAサイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。特に、計画の見直しに際しては、長寿命化の実施状況、老朽化の状況を評価し、検討を行います。

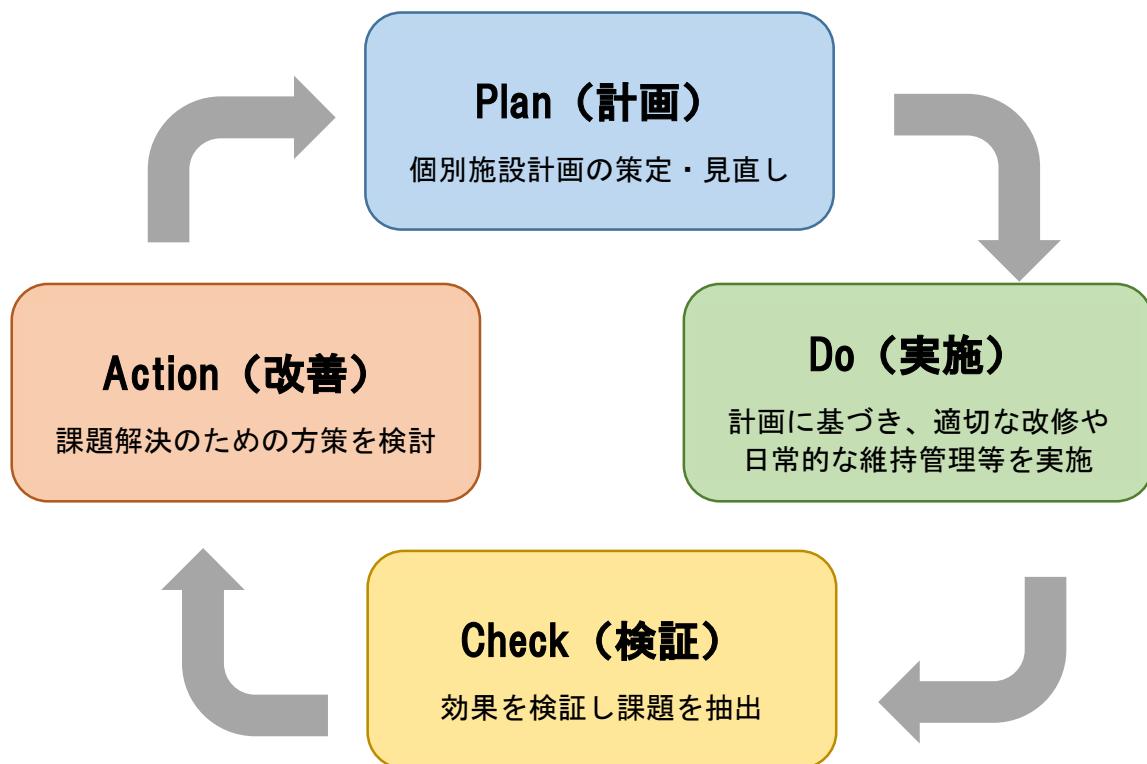


図 7-1 PDCA サイクルに基づく計画のフォローアップ